

附属機関等の会議録

会議の名称		令和 7 年度 第 1 回 田川市地域包括ケアシステム推進協議会 (医療・介護・住まい部会)
開催日時		令和 7 年 6 月 1 9 日 (木)
開催場所		田川市役所 4 階 第 2 委員会室
出席者	委員	学識経験者、保健医療関係者、福祉関係者、行政関係者等 1 6 名
	事務局	保健福祉課 福祉政策係、高齢障がい課 高齢介護係
	その他	
議事内容		<p>1 開会</p> <p>2 部会長挨拶</p> <p>3 部会員紹介 新部会員の紹介</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 令和 7 年度事業の実施内容及び令和 8 年度事業計画について</p> <p>ア 「医療と介護の情報共有の仕組みづくり」</p> <p>イ 「多職種連携のための場づくり」</p> <p>ウ 「住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進」</p> <p>エ 「高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備」</p> <p>資料に沿って事務局から説明後質疑応答</p> <p>○市営住宅の取組について、建て替え対象団地は以前から話があると思うが、継続居住希望者 7 戸は、4 地区で 7 戸ということか。</p> <p>⇒老朽化が進んでいる団地としては 4 団地あり、その 4 団地あわせて 7 戸としている。</p> <p>○どのような内訳か。</p> <p>⇒内訳は確認していないので後日回答させていただきたいが、令和 6 年度時点で 7 戸、令和 7 年度においても変更はないと聞いている。</p> <p>○民間でいう立ち退きのようなイメージだと思うが、7 戸から変更はなくず</p>

っとそこに住み続けたいという話を聞いていて、この気持ちはこれからも変わらないと思う。

そこで、今後どのような、新しい取組で促していくなどの考えはあるか。
⇒そちらについても所管課に確認し、後日回答をさせていただきたい。

○担当課がたまたま出席していないので話が進まない。次回からは出席できるように調整してもらえたらと思う。

○今の件に関連して、立ち退きをしたくない方はそれぞれに住み続けたいとか他の理由が個別であると思う。そこを確認していただいて、もしかしたら困ったことや嫌なことを解決することによって引っ越してもいいと思ってくれる方もいると思うので、個別で対応していただけたらと思う。

○担当課にその旨を伝えていただいて、次回の部会で報告していただけたらと思う。

○医療と介護の情報共有の仕組みづくりの入退院連携マニュアルの作成が継続になっていて、年に1度田川市郡で更新作成を行いと書いてあるが、今までこれが使われて、何が課題で、どのようなところを更新しようと考えているのか教えていただきたい。私はこの会議は3年目になるが、ACPについて、会議の際に説明してマニュアルに入れた方がいいとの意見があったのかなと思って、マニュアルのイメージがわからないがどこをどう更新していくのかわからないので教えていただきたい。

⇒入退院時連携マニュアルについては、軽微な修正も含めて内容の見直しを毎年行っているもので、今年度については、ACPについて検討していく段階にきているというところで、田川地区のワーキンググループの中で入退院時連携について小委員会のような別の小さなグループを作って、検討していく形で進めていく中で、マニュアルについても見直しをしてはどうかという話を医師会としていて、ACPについて記載が可能ではないかとなっているが、今年度の第1回目の委員会はまだ開催されていないので、これから検討していくことになると思う。

○せっかくこの医療・介護・住まい部会で意見があるので、ブラッシュアップしていく形で継続していくといいと思う。

○医療と介護の情報共有の仕組みづくりの中にあつた、入退院時連携会議の開催を今後も継続して行っていくとのことだが、医療と介護の連携が非常

に重要視されている中で、介護施設の方も参加をしていただいて、参加者の拡大を検討されるという認識で話を聞いていたが、その点について、動きや検討の結果などがあれば教えていただきたい。

⇒先ほどの説明内容と重複する部分もあるが、今年度の入退院時連携に関する取組を小グループで進めていく中で、この連携会議の在り方についても検討をしていきたいと思っている。質問とずれてしまうかもしれないが、現在は田川市だけで取り組んでいる部分を田川地区全体に拡大した方がいいのではないかという意見がある中で、田川地区全体でこのような取組ができるように小グループの中で話ができればと思っている。その中で、構成員の見直しも含めて検討できるのではないかと考えている。今年度はまだスタートしていないが、どのような形で進めていくかも念頭に置いて検討していきたい。

○以前も会議の中でエリアが田川市に限定されていて、拡大を（した方がいいのではないか）という意見も出ていたかと思うので、ぜひ検討をしていただけたらと思う。

○今の補足になるが、もともとこのマニュアルの作成は、10年ほど前に田川市の病院と田川市のケアマネージャーが作り上げていて、できあがった後、田川群を管轄している保健福祉事務所と一緒に参加し、会議を重ねずに田川郡の病院を追加していった。田川市のケアマネージャーには、作った経緯などを説明して私たちも受け取ったが、田川群のケアマネージャーには、そういう説明がなくできあがったものを渡した状況だったので、なかなか田川郡のケアマネージャーへの周知が低かったのと、私たちが担当をしていて、市郡のどこの病院へも入院するので、今回、市郡全部あわせて見直そうという形で1年かけてできあがっていくかと思う。

○その中で、この医療・介護・住まい部会の位置づけとしては、どのようなのか。

実際にワーキンググループで作り上げて完成、アップデートしていった、この部会では監督のような位置づけになるのか。

常々思っていたが、いろいろな会議がたくさんあって、どこの会議をどこが管轄しているのかが未だにわからない。

事務局にもお願いしたが、いろいろな会議があるので、それぞれの会議が

何をやって、この部会では何を完成させたらいいのか、目標を明確にした方がいいのではないかと話したことがあった。

委員の皆様でそのことで何か意見はないか。

以前ワーキンググループのような形でもう少し小さな会議にしてはどうかという意見があったと思うが、何か意見を言っただけでないか。

○今は意見を持ち合わせていないが、大きなところでいうと、今まではどうしても市の中心になると思うが、来年度から国の医療計画が改定されるのに今までと逆で今回から地域医療の方から決めていくということになっていて、その地域医療自体が今までの医療圏にこだわりなくもっと広い範囲で見なければいけないとか、医療圏の中でも、例えば筑豊であれば人口減少しているということからするともう少し広い目で見なければ計画が成り立たないという部分も多々出てきているはずなので、そういったところが盛り込まれてくるはず。

先ほど委員が言われていたようなことを広い目で計画していくべきなので、そういう意味では全体を1回見直す時期でもあるのではないか。

○今回、この部会や親会議で何か結果を出せるような目標ができればいいが、僕が参加し始めてからは何も動いていないような気がしたので意見させていただいた。

(2) 関係機関・事業所の取組状況について

資料に沿って各機関の委員から説明。質疑応答なし。

(3) その他

○入退院連携会議の開催などマニュアル作成に去年から参加しており、どのように進んでいくのか楽しみにしていた。マニュアルを見ていないのでなんとも言えないが、計画を立てるときに5W1Hのような、来年はここまで持っていきたいという目標を決めて順次進めていけばどこができていないか、ここが問題などの課題もあがってくるので、モデルや案があれば見やすいと思う。文章だけではわかりにくいので、マニュアルを見たらいろいろな意見が出るし職場で共有もできるので見せていただきたい。

○入退院時連携マニュアルは、僕も見ることがない。

⇒入退院時連携マニュアルは、毎年更新していて令和7年度版があるが、ACPを盛り込むなど、その内容自体の見直しを行うことになるので次年度にどのような形になるかはワーキンググループの中で課題を抽出しつつ作っていくことになる。

現状の分はあるのでお渡しはできる。

○時々話題にあがるので入退院時連携マニュアルを次回委員の皆様配布していただきたい。

今年度の分でなくてもできあがったものを配布してほしい。

できあがっているのであれば今年度のものを配布してほしい。

作成途中のものでもいいので何か意見が出るように見させていただきたい。

○できれば最新のものをみていただいて、ご意見をいただければ今年度変えていく中で、病院関係の方も呼んで具体的な自治体の話もできる。

できあがっても活用できていない、更新はするが実態に合っていない状況なので、例えば、実態を在宅側、施設側、病院側から聞いて、どうするかと考えているので、最新のものをみて、意見をもらえたらいいと思う。

○どういう経緯でマニュアルが作成されてきて、今後どのようにしたらいいのか意見はないか。

○入院した際に、ケアマネージャーが誰に連絡すればいいかわからない、連携室がある病院は連携室に連絡すればいいが、そうでない病院は誰に連絡すればいいかわからない。

病院も最初の頃は、介護保険の認定をもって入院した患者のケアマネージャーが誰かわからない、事業者がどこかわからない、退院するときなるべく在宅生活を維持するためにはどう連携すればいいかわからないということがあったので、田川市がまずどうしようかとなったときに病院のソーシャルワーカーや入退院に関係する看護師、市立病院も関わっていただいて、何回も話し合いをしながらマニュアルを作っていた経緯がある。

それを毎年更新していて、私も田川市の事業所からはずれて5年経つがそのあともずっと更新されている。6年くらい前に田川郡を入れて更新している。

ただ、病院の担当が看護師や事務員なので実態をきちんと把握したい。
本来は患者の保険証にケアマネージャーの名刺をつけるように何年か前に制度改正で変わったが、そこが実際にできているのか、現場の話を聞かなければわからないので連携の情報が今の内容でいいのかなども具体的にしていきたいと思う。

○マニュアルを作っている主体はどこになるのか。

○最初に作ったのは田川市。そのあとに田川郡を足したのは保健福祉事務所。

○この部会としてはどうすればいいのか。

○最初に作ったときは、現場のケアマネージャーや病院や田川市の担当で作ったのでこの部会では作っていないと思う。

おそらくこの部会は報告会のようなものだと思う。

○この会議の目的がよくわからないので明確にできないか。

自分たちの役割かわからないが、市の方に協力していただいて目標を明確にしたい。

○この部会に参加して4年くらい経つが初めて発言する。

関係機関・事業所の取組の中には入れていただいているが、実際には少しずついろいろな研修等に参加させてもらっている。

ケアマネージャーや大きな施設、小さなヘルパーステーションがある中でどこまでこの会に介入できるかはあるが、入退院にしてもケアマネージャーと医療だけでなく、いろいろな形の介護施設が参加させていただけたらいいと思う。できあがったものを広められるように参加させてもらえたらいいと思う。

○以前もこの会で言ったことがあるが、結局、今は報告会のようになっている。

事業はわかるが、事業には本来目的があったはずで、なぜその事業が起きたかってことが全然わからない。

それで部会長が戸惑われているのだと思う。

もともと、事業は、その目的達成のためにあるわけで、その目的を達成されたかどうかという評価ができていない。

本来この部会ではそれをすべきなのではないかと思うが、目的がはっきり

していないのでぼやっとしていると思う。

作ることが目的のような議論になってしまっているのもともとの目的に対する評価がない。

民間であれば、本来 PDCA を回して、作った後の評価をして、またそれをいい方向に改善していくという作業が必要で、この部会はそれをする場なのではないかと思う。

資料1にあるようなことでも、事業の前に本来の目的があると思う。

その事業が正しいかどうか議論すべきところであって、例えば10年前に立てられたものが今に合うとは思えない。なのに、それが議論にならないのは目的がはっきりしないからだと思う。

そこを今後ちゃんとしていくべきなのではないか。

○私もそう思う。

目的が曖昧だから、意見を言っても通じるのかがわからないし、どうやって直していくのかもわからない。

目的をしっかりしないといけないと思う。

この会の主体は高齢障がい課になるのか。

⇒事務局は、保健福祉課になる。

○事務局で先ほどの意見に関して意見はないか。

⇒会議の語り方については、先生たちがおっしゃっていたように変えるべきだと思っている。

前回から、部会長には意見をいただいている、言い方が悪いかもしれないが盛り上がらないという現状がある。

私は保健福祉課に来て4年になるが、入退院時の連携シートがちゃんとできあがってないという認識でいた。

ただ、後で聞いたところによると連携マニュアルがあるとのことで、同じことをやり替えようとしていたので、各病院に説明に行き、システムの問題や改修費用のなどもあったので統一が難しかったという現状があった。

会議の語り方は、事業の目的や実施したことの評価をして、次にどうするかいうところまで示さないといけないということは事務局でも話している。

これまで各部会を8月と3月に開催していたが、年度初めと年度末に開催することとした。親会議に関しても年度末に開催していたが、予算審議のタイミングとすると次年度予算は10月や11月に構成を決定するので年度末に開催しても合わない。

なので、去年、親会議を7月、8月の開催に変更した。

ただ、部会として、どういった結論で、どういった改善をしていくかについては、まだシステムチックになっていないので、自己評価をしていただいて、次にどうするかを含めて議論した上で、親会議に諮って予算化すべきところは予算化していくという形に変えるべきだと考えている。

入退院時連携について、田川地区管内のマニュアルはあっても他の地区から来た場合、様式が違ったりする。私は様式にこだわる必要はないと思っていて、必要事項が網羅されていれば問題ないと考えている。できれば使ってくださいという願いはするが、必ず統一化しても活きたとは思っていないので柔軟に対応するしかないと考えている。

あとは、手探り状態ではあるが、国が推している重層的支援体制整備事業というものがある。

例えば、地域包括ケアシステムは大きく言うと高齢者向けの施策だが、重層的支援体制整備事業はあらゆる年齢層を対象にするものなので、そういったところも進めつつ、先ほどの件も進めていかなければならないと考えている。

○目的が明確化する形になればいいと思う。

○入退院時連携マニュアルと前回まで作っていた情報シートは同じものか。

⇒内容はほぼ一緒。マニュアルの中にシートがついていると記憶している。

○少しだけすっきりした。次に活かしていただければと思う。

○5.6年前は高齢障がい課にいたのであまり言えないが、先ほど指摘があったとおり私も行政の予算や事業を羅列して終わっていたので、目標を示して、それに対してこの事業がどういう効果をあげているというやり方をやっていただきたいと思う。

私は介護保険で、会議には参加しているが、現場で連携をどうやっているのかなど現場で携わられている方の意見を聞けるのはありがたいと思う。

⇒先ほどの入退院時連携マニュアルの配布について、次回の部会となると3

	<p>月になるので、よければ郵送などで事前に配布したいと思うがどうか。</p> <p>○いいと思う。</p> <p>⇒では、事前に配布したいと思う。</p> <p>○マニュアルは紙で配布か。メールでも可能か。</p> <p>⇒紙でも電子でも配布可能。</p> <p>○紙を希望する方は、メールアドレス届出書に紙希望と記載すればいいのではないか。</p> <p>⇒可能な限りメールで送らせていただきたい。</p> <p>⇒今お話があった、メールアドレス届出書について、今までは紙の資料を郵送させていただいていたが、田川市でペーパーレス化を推進している関係から、今後は開催通知と資料の送付は、メールで電子データを送らせていただき、当日の資料については、席上配布とさせていただきたいと思っている。</p> <p>この場でメールアドレスがわかる方はお帰りの際に提出していただき、一度帰って確認したい方は、後日 FAX で提出していただければと思う。</p> <p>6 閉会</p>
<p>問合せ先</p>	<p>保健福祉課 福祉政策係 (TEL : 8 5 - 7 1 1 8)</p>
<p>その他の事項</p>	<p>なし</p>